

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいあい新静岡校		
○保護者評価実施期間	2024年10月23日(水)		～ 2024年12月14日(土)
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57人	(回答者数) 31人
○従業者評価実施期間	2024年12月14日(土)		～ 2024年12月14日(土)
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月6日(月)		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者会、ペアレントプログラムをはじめとする保護者支援の取り組み	・学期に1度くらいを目標に保護者会を開催してきた。ふだんのフィードバックやモニタリング面談での保護者様の語りにヒントを得て、時期を逸しない形で保護者会を開催してきた。	・本年度も行ったが、静岡市発達障害者支援センターきらりのペアレントメンター派遣事業と連携して、先輩ママさんを講師に迎えての保護者会などについては継続して開催していければと考えている。
2	全職員が関わっての支援プログラムの立案や個別支援計画・モニタリングの運用などについて	・あいあい新静岡校は担当制ではなく、基本的には毎回指導員が入り替わる形で、複数の指導員で子どもの支援にあたる体制をとっている。より多くの目で、複眼的に多角的に子どもをとらえ、支援にあたっていくことができると考えている。	・朝のMTを充実させ、情報共有の漏れがないようにしていく。 ・日ごろから子どものあられを話題にし、全職員で共有していけるようにしていく。
3	系列のキラリ高校、アクセスジョブとの連携による切れ目のない支援を目指す	・あいあい新静岡校に通所している子でキラリ高校に在籍している子のケースでは、定期的にキラリ高校と関係機関連携会議を開催し、情報の共有を図ってきた。 ・アクセスジョブとも就労に向けた保護者会などで連携を図ってきた。	・引き続き、キラリ高校、アクセスジョブ静岡との連携を図っていく。キラリ高校に通いながらあいあい新静岡校に通うという選択肢があることをアピールしていく。また、卒業後にアクセスジョブ静岡という選択肢があることをアピールしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関の掲示スペースがせまく、運営規定や各種マニュアルなどがファイルに綴じて配置してあるという点	・玄関の掲示スペースがせまく、本来は掲示して保護者に内容を開示するべきものが、ファイルに綴じて見ていただく形をとらざるを得ない、	・運営規定や各種マニュアルなどは玄関のファイルに綴じてあること、いつでも閲覧可能であることを随時LINEなどでアピールしていく。
2	バリアフリーに対応できていない建物のつくりであるという点	・2階の支援室にあがるには基本は階段となるが、場合によってはキラリ高校側のエレベーターを利用することも可能である。 ・トイレは男女別で用意されているが、バリアフリー型ではない。	・現状、車いすを利用する子どもの利用はないが、万が一そういったお子さんの利用がある場合には、バリアフリーに対応できるあいあい静岡駅南校をご紹介します。
3	地域との連携が不足しているという点	・地域の子どもの連携、地域住民を招待してのイベントの企画などについてはなされていない。 ・一方、隣家の方とは1年に1度はごあいさつに出向き、顔の見える関係性を築いてきている。	・地域の方との交流はないものの、地域の企業との連携という点では、タミヤ模型とイベント「オリジナルビルド」を開催してきた。こうした地域の企業との連携は今度も継続していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あいあい新静岡校					公表日	2025年 2月 15日			
						利用児童数	57人	回収数	57人中31人回収	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	3	0	0		○部屋は面談室を含めると4部屋あります。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	0	0	0		○毎日、4名の指導員が常駐できるようなシステムをとっております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	9	0	1		○1階と2階は基本的には階段ですが、場合によってはエレベーターで昇り降りすることも可能です。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	2	0	0		○刺激を避けるため、部屋の中はできる限りシンプルになるよう心がけております。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	1		○保育士、幼稚園や小学校の教員免許、児童指導員、認定心理士などの資格を持った者が支援にあたっております。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	0	0	0		○支援プログラムは子ども一人一人によって異なります。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	1	0	0		○ふだんの子どもの様子、保護者様からの聞き取り、そしてすべての指導員さんからの多角的なアセスメントを経て、個別支援計画を作成しております。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	1	0	2		○個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」の3つの項目で支援目標と内容を明記しております。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0		○個別支援計画に基づいたプログラムを提供しております。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	0	3		○子どもの様子、保護者様からの聞き取りをもとに、活動プログラムは柔軟に修正しながら取り組んでおります。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4	9	4	・特に希望していません。	○地域の他の子どもとの交流は現在のところ行っていません。		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	1	0		○契約のときに、利用者負担など、説明させていただいております。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0		○個別支援計画の作成の際には、保護者様に丁寧に説明をするともに、その意向を確認するようにしております。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	3	0	1		○ペアレントプログラムの講座を企画し、呼びかけました。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	31	0	0	0		○毎回の保護者様との話（フィードバック）の時間を充実できるよう努めております。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	0	・なんでも相談してくださいと言ってください、とても心強い。	○ペアレントプログラムの講座のほかにも、家族支援（事業所内相談）の呼びかけをしております。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1	0	0		○お子さん、保護者様に寄り添えるよう、研修を重ねてきております。		
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	7	0	1	・先輩ママさんからの体験を聞く場を定期的 に設けてくださり、とても参考になり、励みになる。	○本年度は7月6日（土）に不登校をテーマとした保護者会を、10月19日（土）にはペアレントメンターさんを招いての保護者会を実施してきました。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	2	0	1		○家族支援（事業所内相談）は常時受け入れられています。引き続き、LINEなどで周知していくようにします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	1	0	0		○ふだんのフィードバックの時間の充実、LINEをととしての情報伝達などに力を入れております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	1	0	0		○LINEで様々な情報を配信してまいりました。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	1		○個人情報の取扱いについては十分に留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2	0	2		○防災訓練マニュアル、感染症予防マニュアルなどについては玄関のファイルに挟んであり、いつでも閲覧することができます。 ○訓練は毎月実施してきております。 ○毎月、防災訓練を実施してきております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	1	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2	0	3		○安全計画に基づいて学期に1回、安全点検を実施してきました。その他、通所の安全を確保できるように努めております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	1	4		○万が一のケガなどについては応急処置をするとともに、速やかに保護者様に連絡をする体制を整えております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	1	0	0		○引き続き、安心感をもって通所していただけるよう、職員一同がんばってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	7	1	0	・どのスタッフも丁寧に接していただき、素敵だなと思います。	○お子さんが通所を楽しみにしてもらえよう、引き続き職員一同がんばってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	3	0	0	・45分の支援は短いと思う。支援を受ける子どもはその日のプログラムを慌ただしくこなすことになり、十分に理解することが難しいのではないかと、送迎をする親も、家への往復だけになったり、支援の時間をどこかで潰すにしても、十分な時間ではない。 ・小集団の参加人数が少ないので、もう少し同じ年代の子どもが増えると嬉しい。 ・言語聴覚士の方の指導を受けられるようにしてほしいです。それ以外の指導については、子どもの特性を考えて指導していただいていると思います。	○あいあいのシステムとして、基本的には60分の支援（45分程度の支援と5～10分程度のフィードバック）となります。それよりも長い時間の支援を希望される場合はご相談ください。 ○小集団については随時受け入れられるよう、取り組んでまいります。 ○言語聴覚士などの専門性を持った方の支援については、そうした方の入職があり次第、お知らせしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	あいあい新静岡校		公表日		2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	○定員は基本的に1日あたり10名までお受けできます。支援室は面談室を含めて最大で4部屋確保することができます。	○広い部屋が2部屋、狭い部屋が2部屋あります。お子さんの活動の実態に合わせてどの部屋を使うのが確認していくようにします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	○毎日、4名の指導員が常駐できるようなシステムをとっております。	・職員の体調不良などで人員配置がそろうない場合には、近隣教室にヘルプを求める体制ができております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	○1階と2階は基本的には階段ですが、場合によってはエレベーターで昇り降りすることも可能です。	・トイレがバリアフリーではない(車いす)。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	○刺激を避けるため、部屋の中ではできる限りシンプルになるよう心掛けております。	・運動の際には広い部屋を使用するなど、必要に応じた環境を提供している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	○部屋は面談室を含めると4部屋あります。基本的にはお子さんと指導員さんの1対1での個別対応に特化しております。	○子どもはそれぞれ個別に部屋を使うことができる環境にあります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	○プログラムの立案、振り返り、個別支援計画やモニタリング文書の作成など、全職員が参画する体制でおります。	○全職員の参画のもと、プログラムの立案や個別支援計画・モニタリング文書の作成などに掛かっております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	○毎年11月～12月にかけて、事業所評価を実施し、保護者の皆様の声を集めようとしています。	○事業所評価のまとめについては全職員傘下のミーティングを行い、全体で共有するとともに、改善点を洗い出し、次年度の課題としております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	○職員間では定期的に面談を実施し、職員の意見を把握できるように努めております。 ○毎朝のミーティングで職員の意見の把握に努めております。	○職員から提案された意見は事業所運営に反映するように努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	○第3者評価は実施しておりません。	・第3者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	○静岡発達障害者支援センターきらりの専門研修をはじめ、各種研修に参加しております。	・積極的に研修に参加している。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	○支援プログラムはチームで立案し、その都度修正をしながら取り組んでおります。	○令和7年春に支援プログラムを公表する予定です。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	○ふだんの子どもの様子、保護者様からの聞き取り、そしてすべての指導員さんからの多角的なアセスメントを経て、個別支援計画を作成しております。	○変化する子どもの様子を柔軟につかみ、アセスメントとしております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	○すべての指導員さんの参画のもと、個別支援計画を作成しております。	○全職員の参画のもと、個別支援計画の作成を行っております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	○個別支援計画にのっとった活動プログラムを展開しております。	○支援プログラムを立案する際には必ず個別支援計画にのっとったものとなるよう、確認しております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	○年度初めに2種類のアセスメントシートを使ってアセスメントをとっております。また、日々の子どもの様子や保護者様の語りについては全職員で共有しております。	○年度初めにお願ひするアセスメントシートは内容を全職員で共有し、支援に活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	○個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」の3つの項目で支援目標と内容を明記しております。	○小中学校のケースにおいても必要に応じて学校と連携しながら情報共有をしてきました。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	○朝のミーティングを経て、プログラムのその都度の修正を行っております。	○プログラムはチームで検討、修正を重ねながら、子どもの実態にあったものに常に変化していくよう努めております。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	○子どもの様子、保護者様からの聞き取りをもとに、活動プログラムは柔軟に修正しながら取り組んでおります。	○子どもの様子や保護者様からの聞き取りをもとに、活動プログラムは固定化することのないように努めております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	○放課後等デイサービスでは曜日と時間によっては小集団の療育も提供しております。	・必要に応じて小集団活動にも対応している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	○毎朝ミーティングを行い、子どもの様子、保護者様の語りを全体で共有する時間を設けております。	○毎朝ミーティングを行い、支援の内容や役割分担などについて確認しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	○支援終了後のミーティングは実施しておりませんが、朝のミーティングを充実させております。	○支援終了後のミーティングは実施していませんが、その分、朝のミーティングを充実させております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	○支援を行ったならば必ず支援記録を作成しております。	○支援記録は支援実施の翌日、翌々日には完成するように努めております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	○モニタリングは6か月以内に1度、実施しております。	○モニタリングをとおして保護者様の思いを聞き取り、個別支援計画に反映できるようにしております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	○ガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせたプログラムを展開できるよう、取り組んでおります。	○ガイドラインに沿った支援プログラムになるよう努めております。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	○複数のプログラムを提示し、子どもが自己選択できるような工夫も行ってあります。	○複数のプログラムを提示し、子どもが自己選択できるような工夫も行ってあります。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	○サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者と指導員と複数で参加しております。	○サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者と指導員と複数で参加し、情報共有に努めてまいりました。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	○必要に応じて小中学校と連携する体制を整えております。本年度は1つの小学校、2つの中学校と連携した実績がございます。	○必要に応じて小中学校と連携する体制を整えてまいりました。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	○保護者様をとおして年間計画を把握し、行事などの確認に努めております。	○保護者様をとおして年間計画を把握し、行事などの確認に努めております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	○希望があれば、こども園や幼稚園、保育園との連携をすることができます。	○希望があればこども園や幼稚園、保育園との連携をすることができます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	○希望があれば、障害福祉サービス事業所との連携をすることができます。	○希望があれば、障害福祉サービス事業所との連携をすることができます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	○静岡市発達障害者支援センターきらりからのスーパーバイズについては、ペアレントプログラムでは受けておりますが、通常の支援場面ではスーパーバイズは受けておりません。	・通常の支援場面ではスーパーバイズや助言などを受ける機会は設けられておりません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	○地域の他の子どもとの交流は現在のところ行っておりません。	・地域の他の子どもとの交流は現在のところ行っておりません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	○葵区駿河区放デイ連絡会に毎回参加しております。	○葵区駿河区放デイ連絡会に参加してきました。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	○毎回の保護者様との話（フィードバック）の時間を充実できるよう努めております。	○保護者様との話（フィードバック）で話題になったことについては、朝のミーティングなどで全体に共有しております。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	○ペアレントプログラムの講習を企画し、呼びかけてきました。	○ペアレントプログラムの講座を開催してきました。令和6年度は令和7年1月～3月にかけて開催しました。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	○契約のときに、重要事項説明書や利用者負担など、説明させていただいております。	○契約のときに利用者負担などについて説明するとともに、上限管理のあるお子さんについては毎月上限管理結果の説明を行っております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	○個別支援計画の作成の際には、保護者様に丁寧に説明をするとともに、その意向を確認するようにしております。	○個別支援計画については保護者様に丁寧に説明するとともに、柔軟に修正しながら、子どもの実態にあったものへとver.upして行っております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	○個別支援計画の作成の際には、保護者様に丁寧に説明をするとともに、その意向を確認するようにしております。	○個別支援計画の説明をしたならば、保護者様から同意のサインをいただくようにしております。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	○ペアレントプログラムの講座のほかにも、家族支援（事業所内相談）の呼びかけをしております。	○家族支援（事業所内相談）の呼びかけと、学期に1回程度の保護者会の開催を続けてきました。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	○本年度は7月6日（土）に不登校をテーマとした保護者会を、10月19日（土）にはペアレントメンターさんを招いての保護者会を実施してきました。	・来年度も学期に1度くらいは保護者会を開催できるよう努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	○苦情については教室内で共有するとともに、解決案を提示するなど、適切に対応できるように努めております。	○苦情を教室内の課題への気づき、改善へのチャンスととらえ、前向きに解決できるよう取り組んでまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	○LINEで様々な情報を配信してまいりました。	○ブログ、InstagramなどのSNS活動を行い、イベント情報、日々の活動を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	○個人情報の取り扱いには十分に留意しております。	○個人情報の取り扱いには十分に琉しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	○毎回のフィードバックを充実させられるよう、努めております。	○毎回の保護者様との話（フィードバック）を従事できるよう、努めてまいりました。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	○地域住民との交流の機会は設けてきておりません。 ○ただ、地域の企業との連携（タミヤ模型など）については進めてまいりました。	○今年度も地域の企業（タミヤ模型、ヤマハなど）との連携に努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	○防災訓練マニュアル、感染症予防マニュアルなどについては玄関のファイルに挟んであり、いつでも閲覧することができます。 ○訓練は毎月実施してきております。	○令和6年12月には防災マニュアルを薬消防署に添削していただきました。防災訓練もver.upできればと考えております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	○BCPに基づいた訓練も実施しております。	○BCPに基づいた訓練も実施しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	○服薬やてんかん発作などについては年度初めのアセスメントシートにて確認をしております。また、その都度変化する情報を全体で共有しております。	○服薬やてんかん発作などについては年度初めのアセスメントシートにて確認をしております。また、その都度変化する情報を全体で共有しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	○あいあいの中で食べ物を食べるプログラムは提供しておりません。	○お菓子を配るときには食物アレルギーがないか確認するようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	○安全計画に基づいて学期に1回、安全点検を実施してきました。その他、通所の安全を確保できるよう努めております。	○今年度も安全計画にのっとった安全点検などを充実させてまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	○安全計画に基づく通所の安全確保（通所自立支援加算など）については個別に説明をいたしました。	○通所自立支援加算をとるケースでは個別に保護者様と連携をいたしました。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	○ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止に向けて検討をしております。	○細かな出来事でもヒヤリハットを共有してまいりました。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	○虐待防止委員会は毎月開催してきました。職員の意識の向上に一役買っています。	○事業所内で虐待防止委員を選定し、研修を重ねてまいりました。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	○身体拘束の際の留意事項については教室内研修を実施して全体で共有をしております。	○やむを得ず身体拘束をする際にはマニュアルに沿って子どもや保護者様に十分な説明をしております。	